

ヒトパピローマウイルス（以下HPV）と HPVワクチンと子宮頸がん

大豆戸地域ケアプラザ協力医
大沼 かおる(大沼クリニック院長)
2025年2月

〜〜2024年(令和6年)3月発行の神奈川県医師会パンフレットをもとに〜〜

★子宮にできるがん(以下2つ)

	できる場所	原因	特徴
子宮体がん	子宮体部 (子宮の奥の方)	エストロジェンが関係 (女性ホルモン)	50才代以上に多い
子宮頸がん	子宮頸部 (入り口付近)	HPV感染 ↓ HPVはありふれたウイルス (性交経験者の80%以上が感染)	20~50才代の 若い女性に多い

①子宮頸がんは2種類
(腺がん
扁平上皮がん)

●感染が関係しているがん (肝炎ウイルス → 肝がん
ヘリコバクター・ピロリ(細菌) → 胃がん) が有名

●HPVは子宮頸がん以外 中咽頭がん・膣がん・外陰がん・陰茎がん・肛門がんに関連

★子宮頸がんの予防 ①検診 ②HPVワクチン の両輪が必要

① 検診(二次予防: 前がん病変を早期発見し進行する前に治療) だけでは不十分

- 子宮頸がんの罹患数・死亡率とも増加傾向 ← ①検診率が低い ②偽陰性存在
- ①特に妊娠中や若者に多い。腺がんは見逃されやすい。

② HPVワクチン(一次予防: 前がん病変がおきないようにする) だけでも不十分

- 全ての型の発がん性 HPV を防ぐことは不可能
- ①発がん性のある高リスク型 HPV (約16種) の内
2価/4価ワクチンでは子宮頸がんの70%程度(20才代では90%) を対象
9価ワクチンでは90%程度
- ワクチン接種前に感染している HPV を排除することは不可能

★HPVワクチンの有効性と効果の持続

- 有効性: 定期接種歴の長い海外から多くの予防効果報告あり
(YOKOHAMA HPV PROJECT ホームページを参照)
- 効果の持続: 接種後14年以上予防に必要な抗体価を維持可能
理論的には20~30年から一生涯有効と推計

★HPVワクチンと安全性

2013年 積極的勧奨中止 → 2022年4月 再開

(報告された多様な症状が HPV ワクチンと因果関係があるか調査し現在因果関係否定)
(「厚労省 HPV ワクチンリーフレット」で検索するとダウンロードや印刷が可能)

キャッチアップ接種 2025年3月31日まで だったが、1年延長される予定

- 【対象】 ① 対象年齢(小6~高1相当)に3回接種を受けていない女性
② 1997年4月2日~2008年4月1日生まれの方
★市区町村の保健所にお問い合わせください

令和7年2月1日発行



第108号令和7年2月~令和7年3月
発行: 社福)横浜市福祉サービス協会
横浜市大豆戸地域ケアプラザ
発行責任者: 所長 櫻井 敦也

皆様、明けましておめでとうございます。
昨年は地域ケアプラザをご活用いただき有難うございました。
今年も地域の皆様の身近な相談窓口として、また様々な
事業や活動を通じて地域の皆様が繋がる、地域の皆様のお役に立てるケアプラザづくりを進めてまいります。
本年もよろしくお願い致します。

所長 櫻井敦也



テイサービス

ドライバー募集!!

【資格】普通自動車運転免許
【時間】8:00~10:00 15:45~17:30
* 週2~4日。勤務日、時間については要相談

【業務内容】
テイサービスのお客様送迎時の車両の
運転、給油、洗車など
【時給】平日1162円~
土日祝1191円~
その他手当あり

その他詳細は面接にて
問合せ・応募はお電話ください
☎:045-432-4911 櫻井

まめと歌声プラザ

あの時のあの歌を
あなたも一緒に唄いませんか

3月15日(土)
13:00~14:30

♪要申込み♪ ♪参加費100円♪
*申込みは2月15日(土)11:00~
電話にて
*申込み者お一人のみの受付です
協力: 草道祥子・田中範子・コールしのはら



介護のご相談
事業のお問合せ・お申込みは
大豆戸地域ケアプラザ まで...
*介護のご相談はご予約をお願いいたします。
(事前連絡がない場合は、相談対応できないこともあります。)

〒222-0032
横浜市港北区大豆戸町 316-1
電話: 045-432-4911 (代表)
045-432-4913 (相談専用)
開館時間: 9:00~21:00 (月~土)
9:00~17:00 (日・祝)



HP



LINE 公式

ホームページ: <https://www.hama-wel.or.jp/branch/mamedo/>
*2月・3月の休館日は 2/17(月)・3/17(月) です。



◆JR・東横線「菊名駅」西口から徒歩10分
◆市営・臨港バス「新菊名橋」から徒歩3分

年間事業のご案内

大豆戸地域ケアプラザ主催の事業

	講座名	開催日・時間	参加費	対象	内容
子ども向け	まめっこくらぶ	毎月第2(水) 10:30~11:30	100円 要申込	8ヶ月以上の未就園児	絵本の読み聞かせ・紙芝居・ピアノ演奏ありの手遊びなど
	はぐはぐ・たいむ	2/24(月) 13:30~14:30 3/5(水) 10:30~11:30	100円 要申込	生後3ヵ月~1歳未満	0歳児中心ですが1歳以上の兄弟も参加可能です
	こども将棋教室	毎月第2・4(水) 15:30~17:00	100円 要申込	小学生 1年生~6年生	初級~中級者レベル向けの将棋教室です
	まめっこ・ふれいーむ	毎月第2・4(火) 10:00~11:30	無料	未就学児まで (兄弟も参加可)	10組程度の定員で出入り自由です。おもちゃ・絵本あります。
シニア向け	スリーA教室	毎月第2(金) 10:00~11:45	100円	どなたでも	頭・指・身体を使う認知症予防ゲーム
	楽トレ講座	毎月第3(日) 13:30~15:00	無料	どなたでも	脳トレレクリエーションとストレッチ体操で健康作り
	まめどのサロン	毎月第4(日) 13:30~15:00	無料	どなたでも	書道・囲碁・麻雀(初心者)・絵手紙・折り紙(偶数月)・切り絵(奇数月)
	まめゆるーむ	毎月第4(木) 10:00~11:30	100円	どなたでも	ゆったりペースのストレッチ体操と脳トレレクリエーション

どなたでも	将棋サロン	毎月第4(水) 13:00~15:00	無料	どなたでも	お子さんからシニアまで将棋で楽しく交流しましょう。
	きんにく貯筋	毎月第2・第4(金) 15:15~16:30	300円 要申込	どなたでも	音に合わせた筋トレサーキットトレーニング
その他	介護者のつどい(家族の会)	毎月第4(水) 10:00~11:30	無料	ご家族を介護されている方	日頃のお困りごとや想いをゆっくりお話しませんか。

地域の団体の事業

子ども向け	まめのきひろば	毎月第1(火) 10:00~11:00	無料 要申込	未就園児の親子 (定員15組)	親子のための交流サロン 主催:大豆戸地区民生委員児童委員協議会
	赤ちゃん会	毎月第3(水) 10:00~11:00	無料	1歳未満 お問合せ先	楽しいサロン※育児相談あり 主催:港北区役所こども支援担当
	1才2才3才児の会	毎月第3(金) 10:00~11:00	無料 要申込	1~3歳 定員20組	親子で楽しく遊ぶ子育てサロン 主催:篠原北地区民生委員児童委員協議会
どなたでも	みんなのほっとサロン	毎月第1(土) 13:30~15:00	100円	どなたでも	脳トレやゲームで楽しいひと時 主催:ふたばの会
	かもめのつどい	毎月第3(火) 13:30~15:00	100円	ご高齢の方	スリーAを含む歌の集い 主催:大豆戸地区民生委員児童委員協議会
	スクエアステップ	毎月第1(水)第3(木) 13:15~14:30	100円	どなたでも	身体と頭を使い転倒予防介護予防 主催:おまめアップチーム
	スリーA smile	毎月第3(金) 13:30~15:00	100円	どなたでも	手・指を使い歌やお手玉・太鼓などで楽しく脳トレ
その他	はあとサロン	毎月第4(土) 12:30~14:30	100円	心病む方とそ のご家族	集いの場 主催:はあとネットワーク

「つどいの場を知ろう!おしゃべりカフェ」

日時:2025年2月25日(火)13:30~15:00

場所:大豆戸地域ケアプラザ 2階 多目的ホール

定員:20名 無料

対象:つどいの場にご興味のある方、お話を聞いてみたい方

大倉山1丁目、4丁目、錦が丘には横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業(サービスB)と呼ばれる高齢者向けの地域のつどいの場があります。団体ごとに活動内容が異なり、麻雀やお話会、ちょっとした体操やゲームなど...、ランチの用意もあります。お茶を飲みおしゃべりしながら、どの様なところかお話を聞いてみませんか。

お気軽にご参加ください。

お問い合わせ・申し込みは
大豆戸地域ケアプラザまで
045-432-4911



【総合福祉相談窓口まめど から】

チームオレンジ大豆戸よりご報告

とも RUN伴のご報告

令和6年11月10日(日)にRUN伴を実施しました。横浜市総合保健医療センターから走ったり、歩いたり各々のペースでゴールの大豆戸地域ケアプラザまで全員完走しました。今回は「チームオレンジ大豆戸」のゼッケンの着用や、RUN伴のチラシ配布を行い、認知症に関する普及・啓発活動を行いました。認知症当事者の方やそのご家族、ケアマネジャーや学生、地域の集いの場所の支援者、医療機関職員など多くの方にご参加いただきました。完走の後には茶話会で感想を共有し、多くの方から「来年以降も参加したい、続けていきたい」と次回開催に前向きなご意見をいただきました。令和7年も開催検討して参りますので、ご興味のある方は是非ご参加下さい。

認知症のイメージを変える 映画のつどい

『オレンジ・ランプ』特別上映会

令和6年12月12日(木)に、映画のつどい『オレンジ・ランプ』上映会を実施しました。こちらの映画は、39歳で若年性認知症と診断された丹野智文さんの実話を基にした映画で、今回は認知症の方の支援に携わる民生委員、ボランティア、ケアマネジャー等の支援者に限定し、上映後は感想共有や当事者や家族に対しての支援について意見交換を行いました。「映像化されることで、理解しやすかった」「日頃から地域や他者との交流を積極的にされていると、介護保険サービスの利用も円滑にいけるのでは」といった話が聞かれました。『オレンジ・ランプ』は現在も、認知症啓発のイベントなどで上映会が開かれております。ご興味のある方はぜひ一度ご覧になられてはいかがでしょうか。